

## 令和3年度第3回島田市地域包括支援センター運営協議会

開催日時 令和4年3月3日(木)13:30～15:00

開催場所 島田市保健福祉センター 研修室(3階)

出席者 【委員】

静岡福祉大学	渡邊 英勝(会長)
ケアマネットしまだ	福與 麻貴(副会長)
グループホーム郷の家	藤田 裕佳子
介護老人福祉施設本田山荘	櫻井 一範
被保険者	西村 純一
被保険者	市川 志織
島田市自治会連合会	長屋 正
島田市民生委員・児童委員協議会	塚本 功
地区社会福祉協議会	横山 鍾一郎

【事務局】

包括ケア推進課長	大塚 昌利
包括ケア推進課長補佐	太田 佳宏
地域支援係長	米澤 美晴
主任保健師	渡邊 裕美
主事	曾根 翼
高齢者あんしんセンター第一	尾島 清美
高齢者あんしんセンター第二	鈴木 伊津子
高齢者あんしんセンター六合	鈴木 桂子
高齢者あんしんセンター初倉	遠藤 久哉
高齢者あんしんセンター金谷	杉山 葉子
高齢者あんしんセンター川根	大石 鑑子

傍聴人 2人

### 1 開会

### 2 包括ケア推進課長あいさつ

コロナ禍で本日、県知事からまん防再延長の要請がされたところ。市内のワクチン接種率は25%、65歳以上では54%が接種している状況。高齢者はオミクロン株でも重篤化する例もあるため、ワクチン接種が進んで第6派も早く落ち着いて欲しい。コロナ禍で高齢者の見守りなど訪問など対面できなかったり、高齢者が孤立化してしまい、支援必要な方に手が届かないこともあると思います。先の会議では、人との交流ができない、外出できないことが認知症に

も影響が出ているとの意見も出された。

本日の協議会では、令和3年度の実績や来年度の運営方針、新しい運営体制などご協議をいただきたい。

本日皆様に協議いただく地域包括支援センターは、高齢者の皆さんがはじめに相談する機関である。よりよい包括支援センターの運営となりますよう、本日は忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

### 3 会長あいさつ

コロナかで難しい時期が続いている。包括ケアシステムの要である地域包括支援センターへの期待が高まっている。皆様からご意見をいただければと思いますので、よろしくお願い致します。

### 4 協議事項

#### (1) 令和3年度業務チェックシート・・・・・・・・・・資料1 事務局説明

委員) 保健師の資格を取得することが大変であるため、配置は難しいと感じる。準ずる方の配置でもよいと考える。

委員) 地域ケア会議について、ケアマネが身近に簡単に出席できたらと思う。個別ケースを地域の課題として取り上げてほしい。ケアマネの研修でもやっているため、ケアマネもスキルを上げている。また事業所のある地区だけでなく、担当しているケースの地区の地域包括支援センターとの連絡会も参加したい。地域包括支援センターと連携してやっていきたいと思っている。

#### (2) 令和3年度事業評価・・・・・・・・・・資料2 事務局・各地域包括支援センター説明

委員) 地域の集まりの場に足がないなど課題があり、参加できない人も多い。ボランティアが送迎するわけにもいかず、有償ボランティアの確保もなかなか難しいと感じる。送迎付きしまトレについてどのように実施したか、地域に取り入れられそうな方法があれば教えてほしい。

包括) 移動が大変な地域でもしまトレを立ち上げることを目的に実施した。まだしまトレが立ち上がっていない地域を対象に、現在しまトレを実施している場所へ送迎し、しまトレを体験してもらい、自分たちの地域でも立ち上げるために実施した。また、今年度は多職種連携の会議

でも移動の問題を課題として取り上げる予定。

委員) 搜索模擬訓練についてお伺いしたい。独居の認知症高齢者がいなくなったことに地域で気づいたが、警察、消防、地域の連絡がうまくいかず、搜索が遅くなってしまった事例があった。地域の実情を知っている民生委員も小規模では搜索したかったが、民生委員全体に働きかけができなかった、もう少し何かできたのではないかと気持ちを整理できないという声を聞いた。警察、消防、自治会、市、地域包括支援センターなどもっと早く家族が連絡し、早期に搜索につながるような、実際いなくなってしまったことがわかったらどのように動けばいいか、どこに連絡したらいいか、周知していただければと思う。

事務局) 認知症事前登録制度、見守りあいプロジェクトの説明

会長) いくつか対応があるということですね。

事務局) 対策はあるが、不十分な面もあると認識している。

委員) 認知症対策について、まだまだ認知症の方が地域で住みやすい状況にあるとは言い難い。認知症の方が住みやすい地域であるよう、若い世代に働きかけているが、英語が小学校での教科になったように、認知症も教育の一環として学ぶようになってもらうとよいと感じる。教育関係へどのように働きかけを行っていいのか。

事務局) それぞれの地域包括支援センターで認知症サポーター養成講座を実施しているが、コロナ禍で授業日数が限られており、働きかけてはいるが、学校での優先順位が低くなっている様子。若い世代へ認知症を理解していただけるよう、夏休みなどに学校に働きかけるなど工夫しているところ。

委員) 業務評価と今後の方向性の報告を聞き、細かく実施してくれていると実感した。地域包括支援センターの業務は包括ケアの推進として、実施していると思うが、市がどのように評価しているか、市として包括ケアの推進をどのように感じているか。

事務局) 誰もが健やかに暮らせる街、包括ケアの推進として第9次の計画にもあげている。資料3の業務・事業実施方針を元に市も包括支援センターと協力して取り組んでいきたい。

(3) 令和4年度島田市地域包括支援センターの業務・事業実施方針・資料3  
事務局説明

委員) 介護申請窓口を見ると、すぐにサービスが必要な方、入所の相談、地域包括支援センターにすぐにつないだ方がいいケースを見かける。相談のファーストステップの地域包括支援センターに円滑につながり仕組みを教えてほしい。スムーズに繋がっていないケースもある様子。全ての相談者に対し、同一の相談票を使用しているが、ケースバイケースで対応が必要と感じる。

事務局) 相談窓口では聞き取り票を用い、相談を受けている。地域包括支援センターに早急につなぐ必要がある場合は、一報連絡したり、訪問対応したり工夫している。人を介するため、スムーズにいかない例がある。スムーズに相談業務を行える様、担当課とも協力していきます。

委員) 令和4年度無事に新しい法人が受託してくれるが、民生委員や自治会、通いの場になどに積極的に出向いて関係を作っていただきたい。

事務局) 顔の見える関係づくりを市でも協力して行っていきます。

(4) 指定介護予防支援事業者に係る指定の更新・・・・・・・・・・参考資料  
事務局説明

(5) 令和4年度運営体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4  
事務局説明

委員) 委託事業者について自治会長や民生委員には経緯を説明して欲しいと地元から要望がある。休日夜間も連絡が取れる体制づくりをお願いしたい。土地勘のない職員であれば、地域の状況を理解して業務にあたってほしい。できれば1年以上継続して運営していただきたい。短い期間での引継ぎとなるが、利用者が不便な思いをすることのないようスムーズに引継ぎをお願いしたい。

会長) それでは承認でよろしいでしょうか。

承認

会長) ありがとうございます。ご発言いただいていない委員の方、ご意見を

お願いします。

委員) 親が入所し、高齢ではない引きこもりの子が独居となり生活していたが、宅配の食材がずっと軒先にあることに近隣住民が気付き、自治会に連絡をくれたケースがあった。高齢者ではないため、近所づきあいがなく心配なケースだが、民生委員の見守り対象ではなかった。高齢者以外にも支援が必要な人はいると感じた。

委員) 令和元年度に受託法人が変わったが、新しい受託法人の職員は、土地勘もなく、当初は苦勞したのではないかと思う。民生委員は地域のことを良く知っている。地域の気になる方へ、民生委員と一緒に訪問したりした。法人が変わったばかりは、どこにどんな方が住んでいるかわからないと思う。民生委員はぜひ、一緒に訪問して欲しい。緊急通報システムも固定電話でないと利用できない。携帯電話で対応できるような見守りの仕組みを検討して欲しい。

会長) ありがとうございます。それでは以上で本日の報告、協議が終了致しました。会の進行を事務局へお返しします。

## 9 閉会

事務局) みなさまありがとうございました。長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。運営体制が変わることについては市も協力し円滑な運営ができるよう努めてまいります。任期が今年度末で終了になります。お力添えをいただき、ありがとうございます。

以上で、令和3年度第3回地域包括支援センター運営協議会を終了致します。本日は、お忙しいところ、ありがとうございました。